

2017年度（2018年3月期） 第1四半期 決算説明会

2017年 7月 27日
セイコーエプソン株式会社

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新商品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。

なお、業績等に影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。

■ 事業利益について

事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

連結包括利益計算書上に定義されていない指標であるものの、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念であることから、連結財務諸表の利用者がエプソンの業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しております。

■ 本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て 比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

- 2017年度 第1四半期決算
- 2017年度 通期業績予想

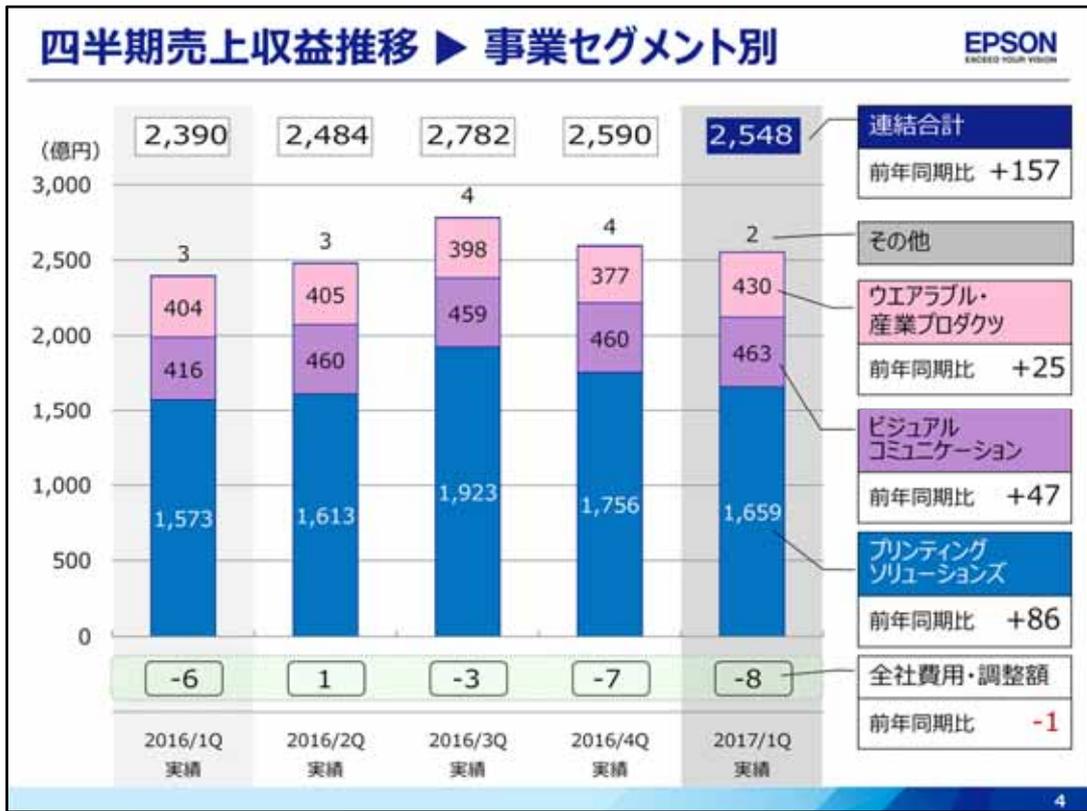
決算ハイライト（第1四半期）

(億円)	2016年度		2017年度		増減額	増減率	
	1Q実績	%	1Q実績	%			
売上収益	2,390	-	2,548	-	+157	+6.6%	
事業利益	64	2.7%	167	6.6%	+102	+159.1%	
営業利益	69	2.9%	146	5.8%	+77	+110.5%	
税引前四半期利益	63	2.7%	144	5.7%	+80	+126.9%	
四半期利益	42	1.8%	103	4.0%	+61	+145.2%	
EPS*	11.58 円		28.97 円				
換算 レート	USD	108.15 円	111.08 円		USD	+21	△4
	EUR	122.02 円	122.12 円		EUR	+0	+0
					その他通貨	+9	+9
					合計	+31	+5

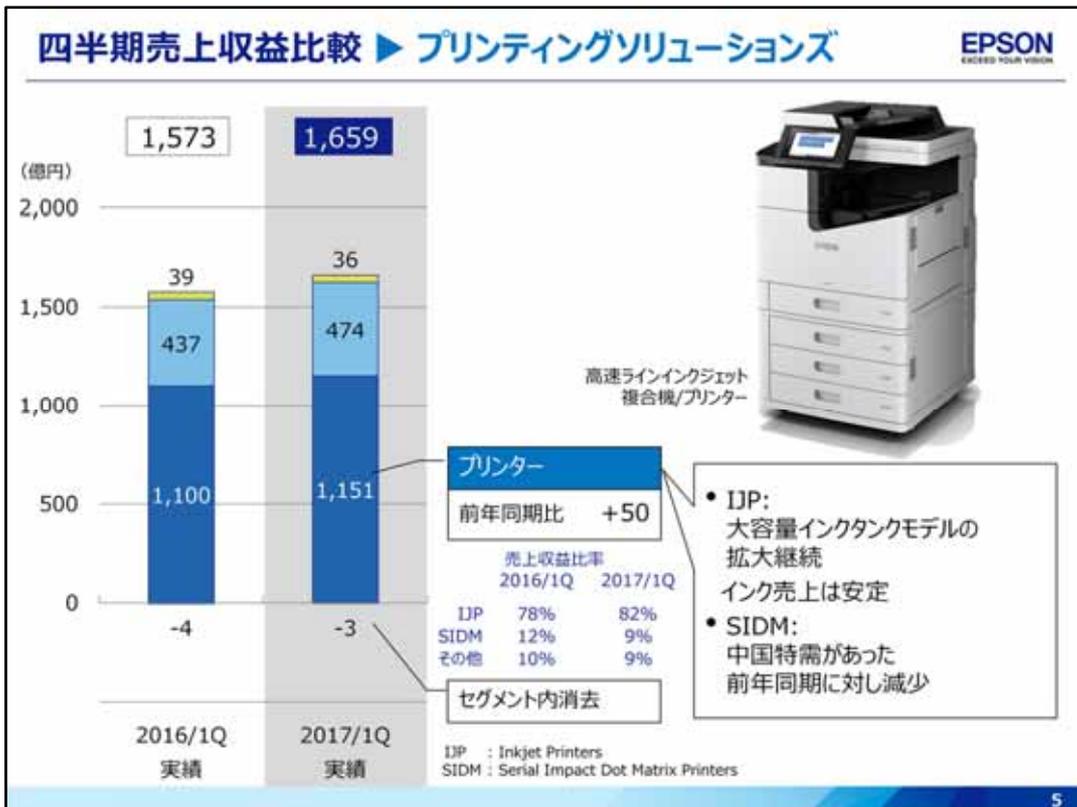
* 基本的1株当たり四半期利益

3

- 2017年度 第1四半期実績は、ご覧の通りです。
- 売上収益は、前年同期比 157億円 増収の 2,548億円、事業利益は、102億円 増益の 167億円、四半期利益は、61億円 増益の 103億円となりました。
- 当四半期の為替変動による影響額は、売上収益で 31億円、事業利益で 5億円 のプラス影響となりました。
- なお、4月28日に開示した通期業績予想に対する当四半期の進捗状況ですが、USDドル、ユーロなど為替が円安に推移したことで、為替変動による影響分が上乘せになりましたが、為替影響を除いた売上収益、事業利益は、各セグメントとも、概ね期初の計画通りに推移いたしました。



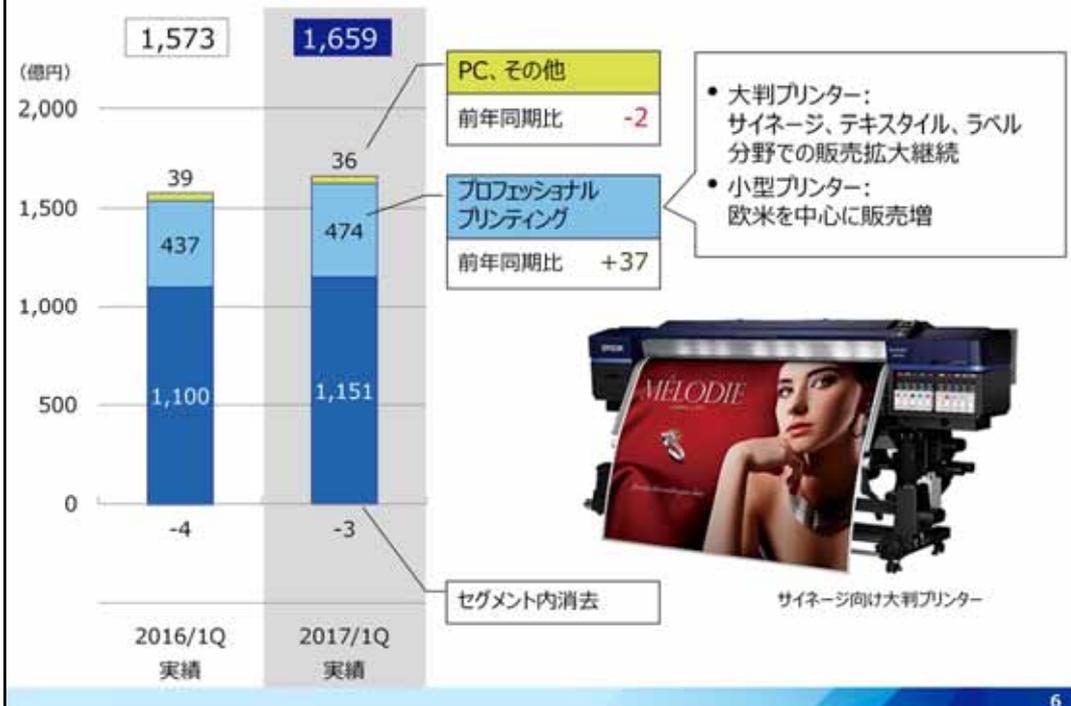
- 事業セグメント別の 四半期 売上収益推移は、ご覧のとおりです。
- 前年同期に対しては、プリンティングソリューションズ、ビジュアルコミュニケーション、ウェアラブル・産業プロダクツで増収となっています。
- 為替変動の影響がほとんどないため、戦略の取り組みの成果が、各事業セグメントの売上収益の増加として、ストレートに表れた結果となりました。



- プリンティングソリューションズの前年同期との比較は、ご覧のとおりです。
- プリンター事業は、インクジェットプリンター本体で、家庭向けを中心にした、一部先進国における軟調な市場や他社プロモーションの影響による販売数量減、および、SIDMで中国の税制改定に伴う特需があった前年同期に対する販売数量減がありましたが、成長ドライバーの大容量インクタンクモデルが、エマージング、先進国ともに、引き続き好調に推移したこと、またインク売上も、市場ごとに強弱はありますが、前年同期に対し安定的に推移したことで、事業全体で増収となりました。
- なお、6月には、高速ラインインクジェット複合機の販売を、日本と欧州で開始しました。
- 実機をご覧になった販売店様やお客様の評価も高く、順調なスタートを切ることができました。
- 改めて、1分間に100枚の印刷速度や、高い印刷品質、コピー機に相当する使い勝手など、実際にお客様に体感いただくことが成約に有効だと認識できましたので、より一層、高速ラインインクジェット複合機を体感していただくための活動を強化していきます。
- この様な活動を通じ、販売店様やお客様に、エプソンの本気度を感じ取っていただけたことで、従来のラインアップだけでは難しかった高プリントボリュームのお客様に対しても、アプローチが進んでいます。
- さらに米国や中国でも、様々な販売店様から、想定以上の引き合いがあるなど、今後の拡大に向けての手ごたえを感じています。

四半期売上収益比較 ▶ プリンティングソリューションズ

EPSON
EXCEED YOUR VISION



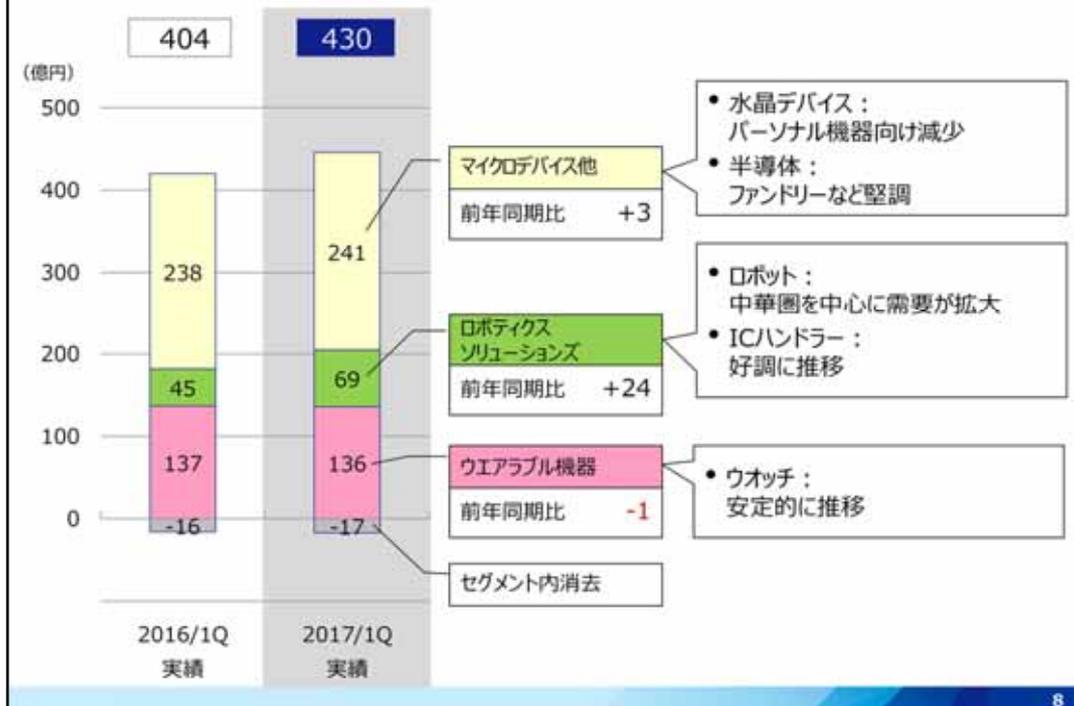
- プロフェッショナルプリンティングは、成長分野であるサイネージ、テキスタイル、ラベル分野の大判プリンターの販売が着実に拡大するとともに小型プリンターが、欧米における案件獲得などにより堅調に推移し、事業全体で増収となりました。
- なお、今回の開示から、プリンティングソリューションズにおいて、そのセグメントの通期売上収益の1%程度を占めるフォト・グラフィックスの一部商品の計上先をプロフェッショナルプリンティングから、プリンター事業に変更いたしました。



- ビジュアルコミュニケーションは、プロジェクターの販売数量が、中国で、プロモーションの強化などにより増加したものの、欧州のサッカーイベントに同期した需要増があった前年同期からの減少や、北米における普及価格帯モデルの販売減少などにより、全体の数量は若干減少しました。
- 一方、昨年度に商品力を強化した高価格帯となる高光束モデルが各エリアで好調に推移したことで、モデルミックスが改善し、セグメントの売上収益は、増収となりました。

四半期売上収益比較 ▶ ウエアラブル・産業プロダクツ

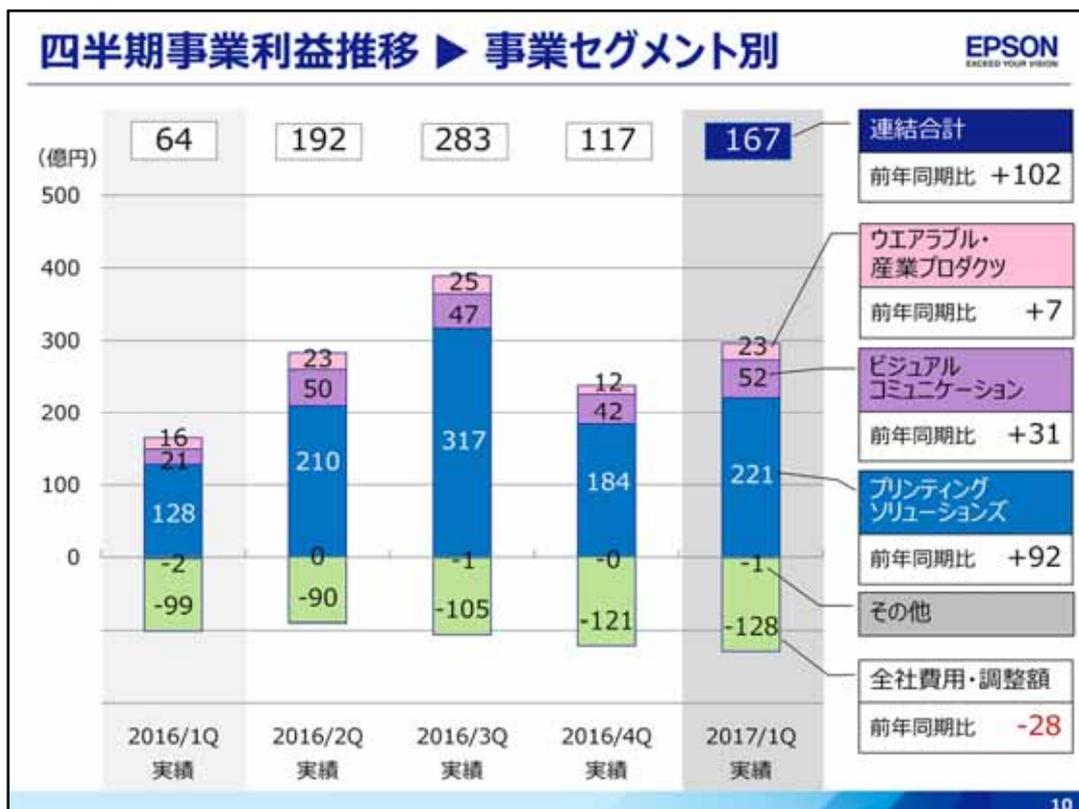
EPSON
EXCEED YOUR VISION



- 続いて、ウェアラブル・産業プロダクツです。
- ウェアラブル機器は、前年同期並みで推移しました。
- ロボティクスソリューションズは、中華圏を中心に、モバイル機器や電子部品等の組立用途向けロボットが大きく販売を伸ばしたほか、ハンドラーも好調に推移し、大幅な増収となりました。
- マイクロデバイス他は、水晶で、パーソナル機器向けが減少したものの、半導体で、ファブリージビジネスなどが堅調に推移したことで、事業全体では前年同期並みとなりました。



- 販売費及び一般管理費の四半期推移は、ご覧の通りです。
- 第1四半期の前年同期との比較では、販売体制整備などに伴う人件費の増加、および、一部の知的財産に関する費用の計上科目変更にもなう増加などにより、連結合計で43億円の増加となりました。



- 事業セグメント別の 四半期 事業利益推移は、ご覧のとおりです。
- 前年同期に対しては、
プリンティングソリューションズは、
プリンター事業で、大容量インクタンクモデルの販売増加などによる増収効果に加え、
インクカートリッジモデル本体の前年同期に対する生産投入数量が減少したことによる
費用減などがあり、増益となりました。
- この生産投入数量の減少は、2015年度末に低水準であった在庫の適正化のために、
前年同期となる2016年度第1四半期の生産投入数量を
一時的に増加させていたことによります。
- プロフェッショナルプリンティングは、
成長分野における大判プリンターの販売増などによる増収により、増益となりました。
- ビジュアルコミュニケーションは、高光束プロジェクターの販売増加など
モデルミックスの改善が進み、増収により増益となりました。
- ウェアラブル・産業プロダクツは、ウェアラブル機器で戦略的な費用が増加したものの、
ロボティクスソリューションズが好調に推移するなど、増収により増益となりました。
- 全社費用・調整額は、
今期より、各セグメントに配賦していた一部の知的財産に関する費用を
全社費用セグメントに計上することとした影響が含まれています。

第1四半期 事業利益増減要因分析



- 事業利益の前年同期比 増益額 102億円の要因分析は、ご覧のとおりです。
- 数量変動は、家庭向けからオフィス向けへミックス変動が進行しているインクカートリッジと、SIDMで、マイナス影響がありましたが、大容量インクタンクモデル、成長分野の大判プリンター、ロボット、半導体などのプラス効果が上回りました。
- 価格変動は、モデルミックスの改善が進むプロジェクターが大きく寄与するとともに、大容量インクタンクモデルやインクカートリッジのミックス変動などにより、大きくプラスとなっています。
- コスト変動は、高付加価値製品の増加に伴うコスト増加がありましたが、インクカートリッジモデル本体の前年同期に対する生産投入数量の減少によるプラス影響などがありました。
- 販管費の増加は、販売体制の強化などによるものです。

財政状態計算書主要項目推移

EPSON
EXCEED YOUR VISION



- 財政状態計算書の主要項目について、ご説明します。
- 資産合計は、
配当の支払いなどによる現金及び現金同等物の減少があった一方で、
棚卸資産の増加などがあり、
前期末に対して13億円増加し、9,757億円となりました。
- 棚卸資産は、前期末に対して112億円増加し、2,197億円となりました。

財政状態計算書主要項目推移

EPSON
EXCEED YOUR VISION



- 有利子負債は、
前期末に対して15億円増加の、1,480億円となり、
資産合計の有利子負債依存度は15.2%となりました。
- ネットキャッシュは、485億円となりました。
- 親会社の所有者に帰属する持分は、
前期末に対して37億円増加の4,959億円となり、
親会社所有者帰属持分比率は、50.8%となりました。

- 2016年度 通期決算
- 2017年度 通期業績予想

2017年度 業績予想

EPSON
EXCEED YOUR VISION

(億円)	2016年度		2017年度				前期 実績比	4/28 予想比	
	実績	%	4/28 予想	%	7/27 予想	%			
売上収益	10,248	-	10,300	-	10,700	-	+451 +4.4%	+400 +3.9%	
事業利益	658	6.4%	670	6.5%	790	7.4%	+131 +20.0%	+120 +17.9%	
営業利益	678	6.6%	640	6.2%	760	7.1%	+81 +11.9%	+120 +18.8%	
税引前利益	674	6.6%	640	6.2%	760	7.1%	+85 +12.6%	+120 +18.8%	
当期利益	484	4.7%	490	4.8%	580	5.4%	+95 +19.8%	+90 +18.4%	
EPS ^{*1}	136.82 円		139.12 円		164.67 円		第2四半期以降の為替前提		
							USD	108円	
							EUR	123円	
換算レート	USD	108.38 円	105.00 円	109.00 円			為替感応度*2		
							売上収益	事業利益	
	EUR	118.79 円	110.00 円	123.00 円			USD	△30	+4
							EUR	△15	△10
						その他通貨合計	△28	△11	

*1: 基本約1株当たりの当期利益

*2: USD/EURは1円の円高による年間影響額 (億円)
その他通貨は1%の円高による年間影響額 (億円)

15

- 2017年度通期の業績予想は、ご覧のとおりとなります。
- 売上収益は 1兆 700億円、
事業利益は 790億円、
当期利益は 580億円 となります。
- 第1四半期の実績は、為替変動によるプラス影響がありました。
- この為替影響を除いては、
概ね期初予想に沿った順調なスタートを切ることができました。
- 第2四半期以降は、プリンティングソリューションズにおいて、
第1四半期に発生したインクジェットプリンターの部品調達先の火災の影響による
輸送費などの費用増を見込む一方で、
大容量インクタンクモデルの販売数量の増加などを見込みました。
- その他のセグメントも最新の状況に基づき見直しを行いました、
各セグメントとも、期初予想からは大きな変動は見込んでいません。
- なお、部品調達先の火災による影響については、
部品の納入状況や本体の販売状況に応じて、適切に対応してまいります。
- 一方で、為替の前提は、期初予想の前提と足元の水準との間で
大きな開きが生じてきたため、
第2四半期以降は、USD 108円、EURは123円とし、
その他通貨も、一部の例外を除き、
前回予想に対して円安となる前提に見直しました。
- したがって、今回の通期業績予想は、為替影響を除いては、
期初予想から大きな変更はありませんが、為替前提の見直しに加え、
業績変動に伴う固定費の増加などを織り込んでいます。

2017年度 業績予想 ▶ 事業セグメント別

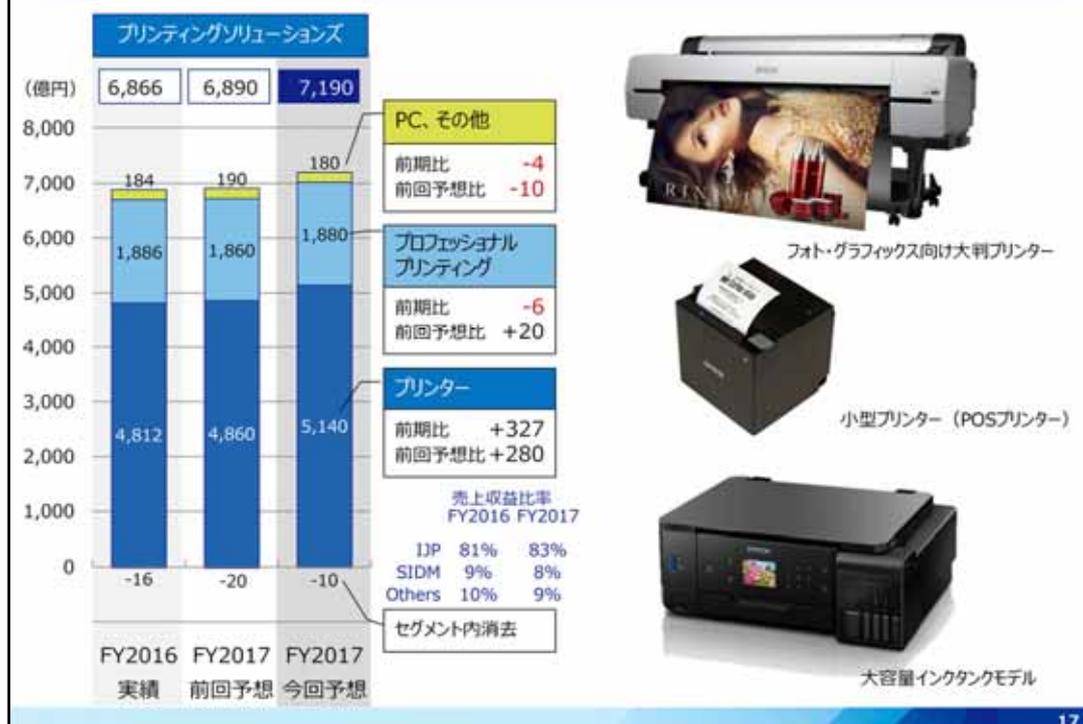
EPSON
EXCEED YOUR VISION



- こちらは、事業セグメント別の売上収益と事業利益となります。
- 為替前提を見直したことで、前期に対し、各セグメントともに、大幅な増収・増益を見込みます。

2017年度 業績予想 ▶ 事業別売上収益

EPSON
EXCEED YOUR VISION



フォト・グラフィックス向け大判プリンター



小型プリンター (POSプリンター)



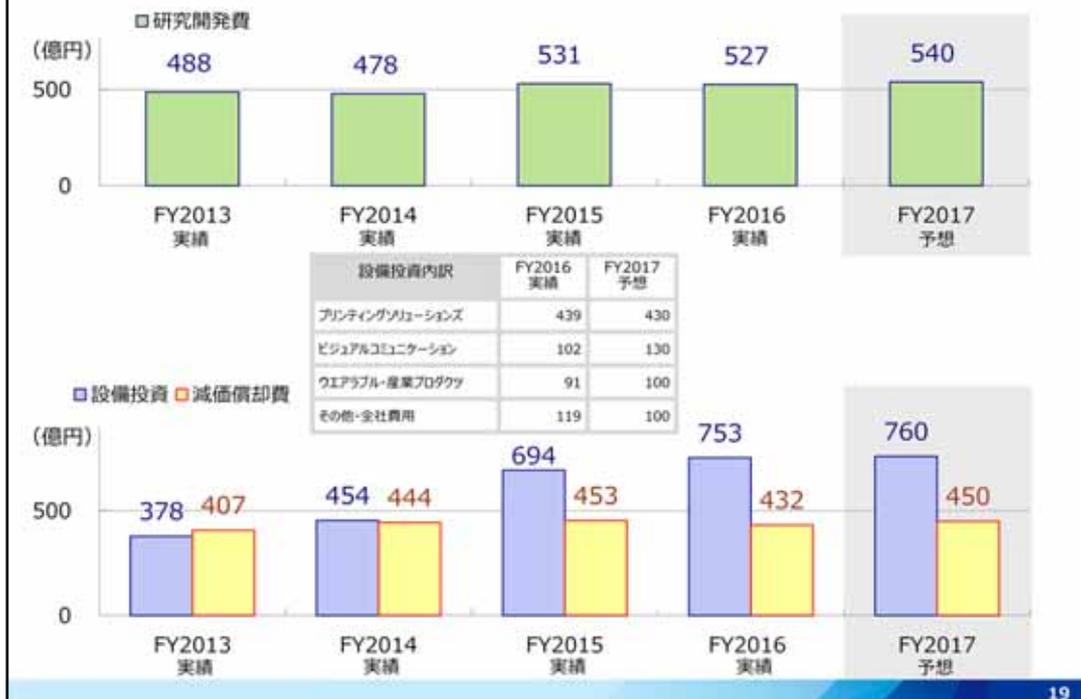
大容量インクタンクモデル

- ▶ こちらは、プリンティングソリューションズの事業別売上収益です。
- ▶ 前回予想に対し、プリンター事業では、家庭向けなどのインクジェットプリンター本体の販売台数をやや引き下げるとともに、インク売上収益は、本体の稼働台数減少の影響を予想し、見通しを若干下げ、前期並みとなる水準を見込む一方、大容量インクタンクモデルは、足元の好調な状況を反映させ、期初予想から、さらなる上積みを予想します。
- ▶ プロフェッショナルプリンティングは、フォト・グラフィックス、小型プリンターの既存分野で、安定的な推移を見込むとともに、成長分野での継続的な売上拡大を予想するという前提に変更はありません。
- ▶ なお、今回の通期業績予想には、フォト・グラフィックスの一部商品の計上先を、プリンター事業に変更したことによる売上収益のマイナスが反映されています。(6ページ 参照) 前期と同じ計上区分で比較したプロフェッショナルプリンティングの今期の売上収益は、着実な増収となる見通しです。

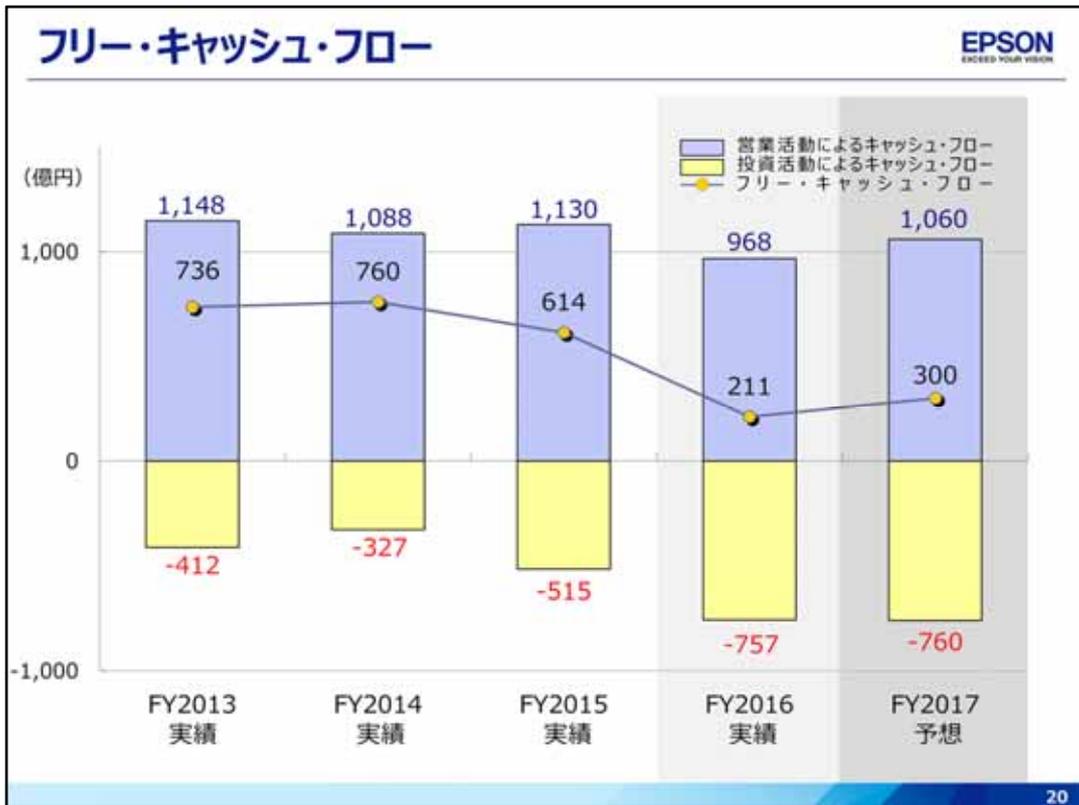


- こちらは、ビジュアルコミュニケーションとウェアラブル・産業プロダクツの事業別売上収益です。
- 各事業の戦略進捗の見通しに、大きな変更はありません。
- ビジュアルコミュニケーションは、プロジェクターで、着実な数量成長に加え、高光束モデルなどの高付加価値商品の販売増加によるモデルミックスの改善を目指します。
- ウェアラブル機器は、9月から販売を開始する「TRUME」など、ブランドビジネスの展開も強化し、中期的な成長を目指してまいります。
- ロボティクスソリューションズは、好調な需要に応えることで、拡大を予想しています。
- マイクロデバイス他は、半導体などで安定した需要が見込まれることから、前期からの着実な増加を見込みます。

研究開発費/設備投資・減価償却費



- 研究開発費、および設備投資の実績と予想はご覧のとおりです。
- 期初予想から変更なく、引き続き、将来成長に向けた費用投入や投資を積極的に行います。



- 2017年度のキャッシュ・フローは、業績予想の上方修正を反映し、営業活動によるキャッシュ・フローを、1,060億円、投資活動によるキャッシュ・フローは、760億円、その結果、フリー・キャッシュ・フローは、300億円を予想します。

主な経営指標



- 以上の業績予想に基づく2017年度の主な経営指標は、
ROSが 7.4%
ROAが 7.9%
ROEが 11.3% となります。

補足資料

主な業績指標

EPSON
EXCEED YOUR VISION

(億円)

(億円)

		FY2016 実績	FY2017 予想	FY2018 目標	項目	FY2016 実績	FY2017 予想	Epson 25 第1期累計
為替レート	USD	¥108.38	¥109.00	¥115.00	USD	¥108.38	¥109.00	¥115.00
	EUR	¥118.79	¥123.00	¥125.00	EUR	¥118.79	¥123.00	¥125.00
プリンティング ソリューションズ	売上収益	6,866	7,190	8,050	営業CF	968	1,060	3,300程度
	事業利益	841	990	-	FCF	211	300	1,200程度
ビジュアル コミュニケーション	売上収益	1,796	1,890	2,000	設備投資	753	760	2,100程度
	事業利益	161	200	-				
ウェアラブル・ 産業プロダクツ	売上収益	1,585	1,680	1,950	研究開発費	527	540	積極的に投下
	事業利益	78	130	-				
その他	売上収益	15	10	0				
	事業利益	△4	△10	-				
全社・調整額	売上収益	△15	△70	0				
	事業利益	△417	△520	-				
連結合計	売上収益	10,248	10,700	12,000				
	事業利益	658	790	960				
	ROS	6.4%	7.4%	8%				
	ROE	10.1%	11.3%	継続的に 10%以上				

主要商品の販売動向

■ 実績および予想（前年同期比）

ASP,売上収益は日本円換算後

商品		FY2016/通期(実績)	FY2017/1Q(実績)	FY2017/通期(予想)
為替レート	USD/EUR	¥108.38 / ¥118.79	¥111.08 / ¥122.12	¥109.00 / ¥123.00
IJP 本体	数量	+5%	+7%	+9%
	数量構成比 オフィス/大容量	約20%/約40%	-	約20%/約45%
	ASP	-1桁%台後半	+10%台前半	+1桁%台後半
	売上収益	-1桁%台前半	+10%台後半	+10%台後半
IJP インク	数量	-4%	-2%	-
	ASP	-1桁%台前半	+1桁%台半ば	-
	売上収益	-1桁%台半ば	+1桁%台前半	前期並み
SIDM 本体	数量	+4%	-25%	-10%
	ASP	-10%台後半	+1桁%台前半	前期並み
	売上収益	-10%台半ば	-20%台前半	-10%台前半
プロジェクター	数量	+6%	-2%	+2%
	ASP	-1桁%台後半	+10%台半ば	+1桁%台半ば
	売上収益	-1桁%台前半	+10%台前半	+1桁%台半ば

本資料は、エプソン内部の管理値に基づく指標です。

EPSON
EXCEED YOUR VISION